

オランダ自転車市況-2013

1. 全体の販売動向

RAI(オランダ車輛工業会)、BOVAG(オランダ自動車自転車商業組合)によると、2013年のオランダ自転車市場の新車販売台数は前年比2.5%減の100.8万台と昨年よりわずかの減少となり、2008年以来、減少が続いている。しかしながら、2012年には前年比1割以上も大幅に落ち込んだ販売金額については、2013年は前年より3.7%増の7億9,726万ユーロ(1,116億1,640万円)と再び増加に転じた。新車販売台数の減少にもかかわらず、販売金額が増加した主な理由としては、販売価格の高い電動アシスト自転車(EPAC)の販売が好調であったためとみられる。

また、平均販売価格については、上述のEPACの販売好調により、2013年には自転車販売業全体で前年比6.5%増の791ユーロ(110,740円)に上昇し、高額商品の取り扱いが比較的多い自転車小売専門店の平均販売価格は、同比2.6%増の989ユーロ(138,460円)に達した。特に2013年は全体の平均価格の方が自転車小売専門店よりも高い伸び率を見せた。

表1: 自転車販売台数及び金額

年	2009	2010	2011	2012	2013
販売台数(万台)	128.1	121.5	119.8	103.5	100.8
販売金額(万ユーロ)	92,992	88,434	87,924	76,916	79,726

表2: 平均販売価格 (単位:ユーロ)

年	2009	2010	2011	2012	2013
平均価格(全体)	726	728	734	743	791
平均価格(自転車小売専門店)	861	920	960	964	989

2. 業態別、価格帯別販売動向

業態別売上比率では、年々比率を減らしてきた「自転車小売店」は、前年より2ポイント増え68%となり、復調の兆しを見せた。それによりディスカウントストアやネットショップを含む「量販店、スーパーなど」は前年より2ポイント減の32%となった。かつて75%前後の高い比率を維持していた自転車小売専門店の売上比率は、ここ数年、落ち込み続け、7割を切るまでになったが、2013年にようやく歯止めがかかり、今後は7割台を回復できるのか、来年以降の数値が注目される。

オランダの消費者は品質やサービスを重視し、自転車小売専門店での購入を希望する傾向

は依然として強く、特に EPAC 購入の場合はより顕著となり、安価な輸入車よりも高品質の自国ブランド車が好まれる傾向はしばらく続くと考えられる。

価格帯別売上比率では、300 ユーロ (42,000 円) 以下の低価格帯は前年より 4 ポイント減少し、それに次ぐ 301~499 ユーロ (42,140~69,860 円) の価格帯は 4 ポイント増加しており、更に中価格帯の 500~699 ユーロ (70,000~97,860 円) は昨年よりポイント増となる等、低価格帯から中価格帯へ一段階押し上げられた形となった。しかし、高価格帯 700~899 ユーロ (98,000~125,860 円) は前年よりポイント減となり、最高価格帯 900 ユーロ (126,000 円) 以上は昨年同様にとどまる等、高額な価格帯の伸びは鈍く、すべての価格帯で全般的に上昇しているとはいえない。

表 3: 業態別売上比率

販売形態	2009 年	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年
自転車小売専門店	74%	73%	69%	66%	68%
量販店、スーパーなど	26%	27%	31%	34%	32%

3. 車種別販売動向と今後の見通し

車種別売上比率では、オランダで人気の高いシティ車 (ダッチバイク) を含む一般用自転車が最多を占める車種であることに変わりはないが、前年より 1 ポイント減少した。また、ハイブリッド車 (クロスバイク等) は前年同様にとどまり、子供車は前年より 1 ポイント減少した。その一方で、電動アシスト自転車 (EPAC) は前年より 2 ポイント増の 19% となり、年々比率を増やし続け、今では一般用自転車に次ぐ第 2 位の車種となり、車種別比率で 2 割近くを占めるまでに成長した。

表 4: 車種別売上比率

車種	2009 年	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年
一般用自転車	49%	53%	53%	51%	50%
ハイブリッド車	16%	10%	9%	8%	8%
子供車	13%	14%	14%	14%	13%
電動アシスト自転車	12%	14%	15%	17%	19%
その他 ※	10%	9%	9%	10%	10%

※その他には MTB/ATB、ロードレーサー及び折りたたみ車が含まれる

表 5: 電動アシスト自転車販売台数 (単位:万台)

年	2009	2010	2011	2012	2013
電動アシスト車販売台数	15.3	16.6	17.8	17.5	19.2

2012 年に減少に転じた EPAC 販売台数については、2013 年は前年比 9.7% 増の 19.2 万台と

なり再び大きな伸びを見せた。また、EPACの販売金額は、前年より3.1%増加し、EPACの販売金額だけで全体の45.2%を占めるとしている。依然として、自国ブランドを中心として高品質・高価格なEPACの人気は根強いとみられ、同国の自転車市場全体では販売台数はここ数年落ち込み続けているものの、2012年はやや停滞気味の感のあったEPAC販売は、2013年に再び台数を増やす結果となり、今後もEPAC販売は引き続き堅調に推移することが期待されている。

因みに、毎年1月に開催されてきた自転車小売店向けの商談会「FietsVAK」は、同国自転車市場の昨今の不調の影響から、2013年の開催結果が思わしくなく内容の大幅な見直しを図った。そのため、本年は消費者向けレジャー展「The Bike & Hike」と共催とし、消費者を対象に広げて規模拡大を図り、新たな自転車展として2014年3月1～4日にかけてアムステルダムで開催された。主催者公表によると、本年は24,658名の来場者を数え、成功裏に展示会を終えたとのことであり、この展示会の今後の成否もオランダ自転車市況を知る上で併せて注目したい。

以 上

統計出所： RAI/BOVAG